

Thematic Exhibition “Formosa ∞ Art: Contemporary Indigenous Art from Taiwan”

フ オ ル モ サ ∞ ア ー ト

台湾の原住民藝術の現在いま

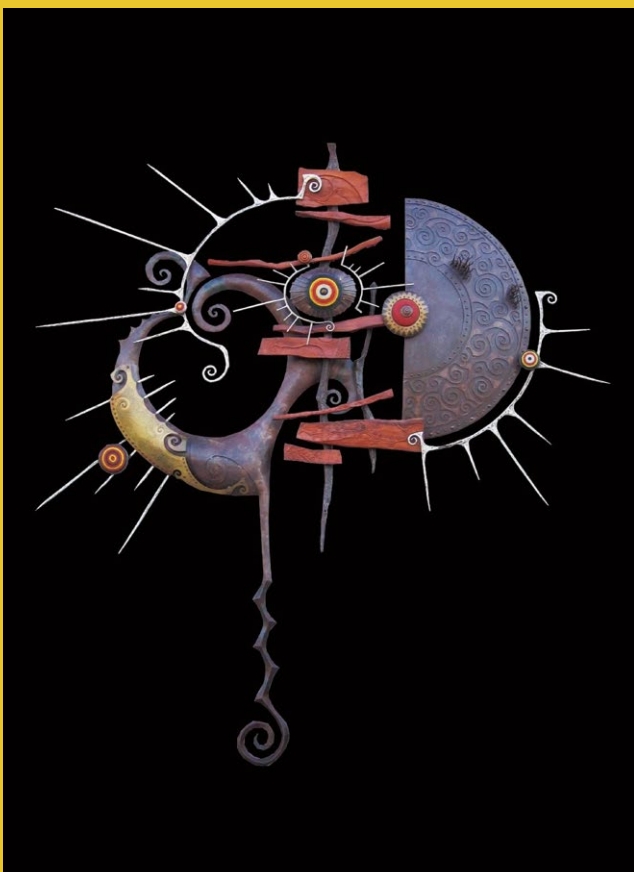
專題展覽「福爾摩沙∞藝術：台灣原住民當代藝術」



みぱく 企画展

アーティスト | Artists

ユマ・タルー | Yuma Taru
クルル・ルラダン | Kulele Ruladen
マスグスグ・ジンルル | Masegeseg Zingerur
イタン・パヴァヴァルン | Etan Pavavalung
ニタン・タキヴァリ | Nitjan Takivalit
シキ・スフィン | Siki Sufin
アルアイ・カウマカン | Aluaiy Kaumakan
アダン・ダルジャルン | Adan Dalujalung
アルツァン・パタダ | Arucanglj Patadalj
ミレイ・マヴァリウ | Milay Mavaliw
シャマン・ミスラコ | Syaman misrako
イダス・ロシン | Idas Losin



2025.9.18 Thu - 12.16 Tue

会場 国立民族学博物館 本館企画展示場

開館時間 10時～17時（入館は16時30分まで） 休館日 水曜日

主催 国立民族学博物館 共催 順益台湾原住民博物館

協力 公益財団法人千里文化財団 後援 日本文化人類学会

「上イダスロシン」《アネアアロア》2024年「中イタン・パヴァヴァルン」《吹き動く》2021年
「下クルル・ルラダン」《抽象の眼》2006年



国立民族学博物館

National Museum of Ethnology
<https://www.minpaku.ac.jp/>



順益台灣原住民博物館
SHUN-IKI MUSEUM OF INDIGENOUS PEOPLES

台湾にはもともと住んでいるという意味の「原住民族」という公称をもつ先住民族がいます。本企画展では国際的なアートシーンでも高い評価を得ている12名の「原住民族藝術家」の作品を紹介します。原住民族藝術家の作品には、個人や集団の記憶が民族のアイデンティティをともない色濃く表現され、強い抗議や社会運動の色彩を帯びることもあります。また、祖霊や神話、祭礼や慣用してきた文様が作品の重要なモチーフとなり、原住民族の暮らしや文化を育んできた大地や大海との対話が創作活動の支柱となっています。

企画展のタイトルのフォルモサ (Formosa) は、台湾の美しさ^{かんたん}に感嘆した大航海時代のポルトガル人の「Ilha Formosa (麗^{うるわ}しの島)」という言葉に由来します。継承されてきた伝統文化、現代化にともなう先住民族文化の喪失、地球や世界が抱える環境破壊や格差問題など、アートを通して無限に広がる台湾原住民族の世界をお楽しみください。



ニタン・タキヴァリ《愛と希望》2020年【尊彩藝術中心 提供】



ユマ・タラー《生命の螺旋V—布のような舌》2021年



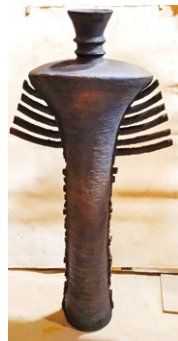
アルツァン・パタダ《切痕》2024年



アダム・ダルジャラン《禁錮》2019年



シキ・スフィン《高砂の翼(五)》2025年
【順益台湾原住民族博物館 提供】



マサググ・ジンルル
《かげりゆく制度》2016年



《サキザヤ族》



《サイシヤット族》



《ツォウ族》



《セデック族》

ミレイ・マヴァリウ《16族のテーマ》2013-2022年

企画展「フォルモサ∞アート」 台湾の原住民族藝術の現在

專題展覽「福爾摩沙∞藝術：台灣原住民族當代藝術」Thematic Exhibition “Formosa ∞ Art: Contemporary Indigenous Art from Taiwan”

関連イベント

シンポジウム

「ファンタジーから未来へ
——台湾原住民族アートの新たな地平」
(從幻想邁向未來——臺灣原住民族藝術的新地平)
2025年9月18日(木) 13:30-16:45(予定)
場所: 民ぱくインテリジェントホール(講堂)
登壇者: 本企画展に参加する原住民族藝術家
※詳細はホームページをご確認ください。

民ぱくゼミナール

「台湾原住民族アート史」
2025年10月18日(土) 13:30-15:00
場所: 民ぱくインテリジェントホール(講堂)
講師: 野林厚志(本館教授)
※申込不要、参加無料

民ぱくウィークエンド・サロン

「FF(フォルモサ・ファンタジー)2025
——台湾原住民族の世界観」
2025年10月19日(日) 14:30-15:00
場所: 本館展示場(ナビひろば) 話者: 野林厚志(本館教授)
※申込不要、要展示観覧券(イベント参加費は不要)

友の会講演会(東京)

「『原住民族藝術家』として語る／語らない人びと」
2025年11月2日(日) 13:30-15:00(13:00 開場)
場所: モンベル御徒町店 4階サロン
定員: 50名(先着順、事前申込要)
参加費: 友の会会員、モンベル会員は無料
一般 500円(資料代)
講師: 田本はる菜(成城大学専任講師)

各イベント詳細はこちら



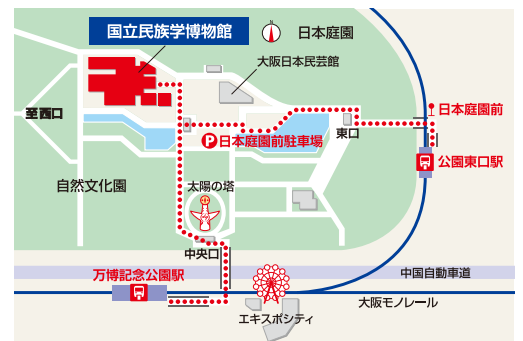
ご利用案内

開館時間 10:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日 水曜日
観覧料 一般780円/大学生340円/高校生以下 無料
※観覧料割引についてはホームページをご確認ください。

交通のご案内

大阪モノレール 「万博記念公園駅」、
「公園東口駅」下車徒歩約15分
バス 阪急茨木市駅・JR茨木駅から
「日本庭園前」下車徒歩約13分
乗用車 万博記念公園の駐車場(有料)をご利用ください。
最寄りの「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分

※大学生・一般の方は万博記念公園各ゲートで、当館の観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。※高校生以下の方、国立民族学博物館友の会会員の方は万博記念公園各ゲート有人窓口で、民ぱくへ行くことを申し出いただき、通行証をお受けください。※万博記念公園をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号
Tel: 06-6876-2151(代) Fax: 06-6875-0401
https://www.minpaku.ac.jp/

科研費
関西から
文化力
POWER OF CULTURE